みどりのニュースレター

4
2010
No.203

市民の発信で持続可能な社会をつくる

特集：環境市民で想いをカタチに！
～春だ ボランティアはじめよう～

特定非営利活動法人
環境市民

¥200
収益の一部は環境市民の活動資金として使わせていただきます。なお、会員には毎月無料配布しています。

このニュースレターはボランティアの手で折られ発送しています。

21世紀 地球を、地域を、生活を、持続可能な豊かさに
http://www.kankyoshimin.org/

みどりのニュースレター

No.203 2010年4月号

編集員が行く！ 02

ミツバチさん飛行距離 1600km の恵み

特集：環境市民で想いをカタチに！ ～春だ ボランティアはじめよう～ 03-07

行事案内 08

意見表明 09

「地球温暖化対策基本法案」の根本的見直しを

スタッフ異動のお知らせ 10

とれたて！ 環境市民 11-12

日本初カーボンニュートラルステーション摂津市駅および摂津市駅号での環境メッセージ発信を環境市民が企画監修／「市民目線の CSR 調査」基準原案公開のお知らせとご意見募集／リニューアル！再登場最新版 京都自転車マップ 京都市内版・京都郊外版

環境市民 東海事務所だより 12

企業の社会的貢献のかたちと個人の選択

りじこらむ no.11 13

環境市民からつながっていること／在間 敬子

読者交流コーナー みどりのかわらばん 14

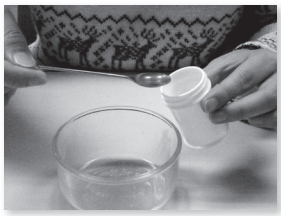
1/ 環境市民 15

もっと市民レベルで、徹底的に議論ができないものか？ たとえば、新規の空港建設、原発、それを宣伝するコマーシャル一つにしても。／末石 冨太郎さん

編集員が行く！

編集部のアンテナにかかった選りすぐりの
エコ情報を伝えます！

No.10 ミツバチさん飛行距離 1600km の恵み



湯煎をして、かきまぜて……チョコレートづくり?

いえいえ、今回つくったのは「みつろうクリーム」。天然素材だけを使った、手作りの保湿用スキンケアクリームです。

まずは、耐熱容器にホホバオイルとみつろうを入れて湯せんにかけ、みつろう（固形）を溶かします。ホホバオイルは、「ホホバ」という植物の種子からとれるオイルで、北米の先住民が肌や髪の手入れに使っていました。黄金色でとろっとした様子は溶けたバターのよう。みつろうは、ミツバチが巣をつくるために体の中でつくりだす成分。保湿や治癒特性があり、化粧品の他、ろうそくや家具用のワックスなどにも使われています。色はクリーム色から濃い茶褐色までいろいろ。ほんのりハチミツの香りがします。二つとも天然のものなので間違って口に入れても安心です。いずれも、自然食品店などで販売されています。

みつろうは今回特別に、六甲山の麓で養蜂業をしている方からいただきました。ところで、ミツバチは、みつろうを 1kg 集めるために 32 万 km、地球 8 周分も飛ぶんだそうです。ということは、今回使った約 5g は、1600km 飛び回った分相当。六甲山の豊かな自然の中をミツバチが花から花へと飛び回る様子に思いを馳せつつ、スプーンでまぜること約 10 分。溶けたら容器に入れ、固まったらできあがり。明るい黄色がかったクリームができました。夜に塗って眠ると翌朝のお肌のハリもいい感じに！ しっとり感抜群です。

みつろうの割合を多くすれば固めのリップクリームに、少なくすればやわらかいクリームになります。「買う」ことが当り前の化粧品もつくってみると、自然や人とのつながりが見えてきそうです。

（文 / ニュースレター編集部　有川 真理子）

取材協力：和久 愛子さん
参考：スローライフスタイルショップ　膳
URL: http://shop.slowbusiness.org/

次号予告 みどりのニュースレター **No.204** 2010年5月号 **現在編集中！**

特集：再生可能エネルギーの買い取り制度（仮）

再生可能エネルギーを普及させるカギとなる固定価格買い取り制度。日本では、現在、太陽光発電による余剰電力のみが対象ですが、ヨーロッパにおいては、全量全種の再生可能エネルギー電力を買い取り、雇用の拡大にもつながっています。日本での本格的な制度設計はこれからです。現行制度の問題、解決方法、私たちの暮らしや仕事とのかかわりについて伝えます。

特集：環境市民で想いをカタチに！ ～春だ ボランティアはじめよう～

**春。何かをはじめてみようかな、
という気分になる人も多いことでしょう。
そこで、今月の特集では環境市民での
ボランティア活動を紹介します。
気になるプロジェクトを見つけたら、
お気軽に事務局までお問合せください。**

これから環境市民でボランティアをはじめようかな、と思っているみなさんへ

(文/事務局長　堀 孝弘)

ボランティアには専門技能が必要？

環境 NGO でボランティアをするとなると、外国語の理解や環境問題についての専門知識や経験が必要なのではと思われる人もいます。

はっきり言って、これは NO ！

事務局作業の下支えもとてもありがたい！

外国語や専門知識が必要な時もありますが、全ての人に求められるわけではありません。むしろ、事務局スタッフの手がまわらない作業の下支えをしてくださる人をとてもありがたく思います。環境団体に限らず、市民活動はやりたくても手がまわらない作業が多いのです。現在事務局長をしている堀も、事務局スタッフになったのは、会員になって８年後のこと。それまでボランティアとして活動していましたが、最初の頃は「事務局の掃除、資料整理をする」ことに徹していました。

活動のなかに成長がある

しかし､ボランティア＝「奉仕」ではありません。活動のなかで、自身の成長が実感できなければ、本人の思いも長続きできないでしょう。

環境市民には､「日本の環境首都コンテスト」をはじめ、事務局委託されている「京都グリーン購入ネットワーク」の事業も含めて、自治体や企業向けの活動、消費者や子どもたちに向けた環境啓発、環境教育活動など、多くのプロジェクトがあります。それら具体的プロジェクトの実行に参加してもらうことで、さまざまな知識やスキルを修得してもらうこともできます。

自己実現の機会もある

さらに、自分で発案して仲間を募り、プロジェクトを実現することもできます。環境市民の活動のなかには、ボランティアの発案から生まれたプロジェクトも多くあります。もちろん発案さえすれば、誰かが実現してくれるというものではなく、実現には多くのプロセスがありますが､「参加者」「実践者」から「機会提供者」へと成長できる機会が、ボランティア活動のなかにあります。

環境市民のミッション

環境市民は、「持続可能で豊かな社会」を実現することをビジョンとし、五つのミッションにもとづいて活動を展開しています。ミッションごとにどんなプロジェクトがあるのかご紹介します。

1.エコシティーを創る
2.経済をグリーンにする
3.豊かなライフスタイルを創造する
4.エコロジーな次世代を育む
5.世界の人々やNGOと協働する

Mission. エコシティーを創る

日本の環境首都コンテストチーム

プロジェクト 日本の環境首都コンテストプロジェクト

環境市民は、コンテストを主催する環境首都コンテスト全国ネットワークの主幹事団体を務めています。環境市民では毎年10 人近くのボランティアがこのプロジェクトにたずさわり、それぞれが責任を持って自治体のヒアリングや採点を担います。ボランティアは活動への参加の中で、環境施策の知識やNGOの持続可能な地域社会づくり政策提案がどんなものなのかを学んでいきます。ともに第10回コンテストをすすめる意欲のある方、募集中です。

＼ここでクイズです！／ ……答えは6ページ

Q1 「2010年3月31日現在の市区町村数は(A)で、これは11年前（1999年）の約（B）である。また第9回（2009年度）の環境首都コンテスト参加自治体は58であり、（A）の（C）%を占める」。(A)、(B)、(C) に当てはまる組み合わせとして正しいものはどれでしょう。

① (A) 1728 (B) 二分の一 (C) 3.35
② (A) 1982 (B) 三分の一 (C) 2.36
③ (A) 2569 (B) 四分の一 (C) 1.25

自転車チーム

プロジェクト 京都を自転車先進都市にしよう！プロジェクト

京都の自転車利用環境の改善をめざし、そのために自転車の論客・オピニオンリーダーを育てるべく、考え、議論し、走るプロジェクトです。昨年度は、LLP自転車ライフプロジェクトという団体と共同で「京都自転車マップ」改訂新版制作に取り組みました。まちづくり・自転車・都市交通系グループとの協働や行事への協力も引き続き行います。

＼ここでクイズです！／ ……答えは6ページ

Q2 自転車で書類などを届ける仕事をする人を何と呼ぶでしょう？ ……①マネージャー　②メッセンジャー　③ゴレンジャー

Q3 自転車で通勤する人を俗に何と呼ぶ？ ……①ピアニスト　②ツーキニスト　③テロリスト

Q4 自転車生産量日本一の堺市があるのはどの都道府県？ ……①滋賀県　②大阪府　③佐賀県

Mission. 経済をグリーンにする

プロジェクト 日本版SHOPPING for a BETTER WORLD作成プロジェクト

環境市民は、人権、雇用、児童労働、福祉など多様な分野のNGOとともに、「CSRを応援するNPOと市民のネットワーク」をつくり、「日本版SHOPPING for a BETTER WORLD（より良い世界のための買い物ガイド）」の作成に取り組んでいます。現在、同ガイドブック作成のため、家電や自動車など、国内の大手企業を対象に「市民目線のCSR調査」を行っています。

＼ここでクイズです！／ ……答えは6ページ

Q5 最近「CSR」という言葉をよく聴くようになりましたが、下記のうち、近いのはどれでしょうか。

①職員あげて事業所周辺の清掃活動に努め、文化事業に寄付をすること
②税金をきちんと納め、法令で決められた環境対策を誠実に実行すること
③利益の追求だけでなく、事業活動が社会に与える影響に責任をもつこと

Mission. 豊かなライフスタイルを創造する

プロジェクト
“エコ地蔵盆プロジェクト”

京都の伝統行事「地蔵盆」に環境の視点をとりいれたもの。ごみ減量に加え、添加物の少ないおやつや子どもの遊びの提案もおこなっています。環境の視点を入れることで、地域の人たちの工夫がたくさんでてきて行事が盛り上がり、地域のコミュニケーション促進等の効果も出ています。運動会やPTAの行事などへの応用も可能です。

\ここでクイズです！／ ……答えは7ページ
Q6 **エコ地蔵盆では、ごみ減量のためリサイクルを進めている。○か×か。**

プロジェクト
“自然住宅プロジェクト”

自然住宅チーム

私たちはエコロジーな住まい作りをテーマに発足したグループです。今年度は周辺環境も住まいの延長ととらえ、より豊かな暮らしを得ることを目標とした企画を準備しています。
京都、およびその近郊で「街なかでくつろげる“居場所”」の情報を集め、共有財産となるマップなどを作る予定です。

\ここでクイズです！／ ……答えは7ページ
Q7 住宅に使われる木で絶滅危惧種二つはどれでしょう？
①スギ　②チーク　③ヒノキ　④カエデ　⑤ラワン

Mission. エコロジーな次世代を育む

SKIPチーム

プロジェクト
“君もエコファイターになろう！プロジェクト”
～子ども版環境入門講座、めざせ！エコファイターkids～

SKIPの環境共育教材のSTOP地球温暖化カルタや書き込み式絵本『みどりのえかきやさん』を使ってワークショップを行い、子どもたちに楽しみながら地球温暖化の事を学び、どうすれば地球のためになるかを自ら考え行動するきっかけができるようにプログラムを自主企画・運営しています。

\ここでクイズです！／ ……答えは7ページ
Q8 **地球温暖化が進むと起る気象現象で間違っているのは次のうちのどれでしょう。**
①大雨による洪水　②乾燥による砂漠化　③台風の小型化

広報活動 mission 市民の発信で社会を変えよう

広報チームのプロジェクト

環境市民では「市民の発信で社会を変えよう」を広報活動のミッションとし、３つの媒体で環境情報を発信しています。

次ページへ →

プロジェクト
“電子かわら版”

電子かわら版チーム

持続可能な社会づくりをすすめています。たとえば、「エコ投票」。環境市民のウェブサイト上で「あなたが『ああ春だなぁ』とはじめに感じるのはどんなときですか」など身近な話題をテーマに投票が行われています。ウェブをみている人がどんな風に考えているのか知ることができます。ちなみにこの投票では「春の花が咲いているのを見つけたとき」が一番投票数が多い結果となりました。

桜や睡蓮、スズランなどをみかけた時に多くの人が春を感じているみたいですね。投票期間終了後には解説が行われ、あなたの選んだ項目が環境の観点から見るとどう評価されるのかがわかります。意外な発見があるかもしれませんよ。

＼ここでクイズです！／
……答えは7ページ

Q9 **春（4～5月）に咲く花は以下のうちどれでしょう？　①イチゴ　②キキョウ　③ツバキ**

プロジェクト
“市民目線のエコ情報をラジオで発信”

ラジオチーム

毎週月曜日の午後1:00から15分間、ラジオ番組「環境市民のエコまちライフ」（79.7MHz）を放送しています。環境や京都のまちへの関心を高めようと、さまざまなゲストをお招きし、身近な話題を楽しくわかりやすく伝えることをめざし、ブログでも発信しています。さまざまな人に出会うことができる取材が醍醐味です。4月にラジオチームが開催するイベント（8ページ参照）からクイズです。

＼ここでクイズです！／
……答えは7ページ

Q10 **純米酒とはどんなお酒でしょうか？　①米・米麹・水を原材料とする清酒　②現在、正規に販売されている日本酒はすべて純米酒　③100%アメリカ製の日本酒**

プロジェクト
“みどりのニュースレター編集部”

ニュースレターチーム

みどりのニュースレターを通して私たちは、環境市民の考え方や活動などを、ときには真面目な、ときには楽しい記事で伝えています。メンバーは、学生もいれば、出版関係の会社に勤めている人もいて様々。そんな色とりどりのメンバーが、日々アンテナを張ってニュースレターづくりに励んでいます。2009年11月号の「地球のなかま」からクイズです。

＼ここでクイズです！／
……答えは7ページ

Q11 **汚染の進む瀬戸内海で、奇跡的に自然の残る山口県上関に住むヤシマイシンの近似種という貝の属する科は？　①イガイ科　②サザエ科　③カクメイ科**

クイズの答えと解説

Q1. 答え①……2003年（平成15年）から2005年（平成17年）にかけて「平成の大合併」はピークを迎え、1999年（平成11年）3月末に3,232あった市町村の数は、2006年（平成18年）4月には1,820にまで減少。それ以降も毎年減り続け、2010年3月31日現在1728になる（総務大臣告示済の数値）。第9回環境首都コンテストに参加した58自治体の約半数が2003～2006年度に合併を経験しています。コンテストの参加自治体は減少傾向にありますが、最後の10回目となる今年度は過去最高数の参加獲得をめざしています。

Q2. 答え ②……交通渋滞の激しいニューヨーク発祥の自転車メッセンジャーが、東京で開業したのは1989年。1999年には馬場康彦監督により映画化され、一般にも知られるようになった。各国のメッセンジャーによる国際規模の交流イベントも開催されている。防水加工大型バッグ「メッセンジャーバッグ」のたすき掛けをはじめ、彼ら独特のスタイルがストリートファッションに影響を与えているのも事実。

Q3. の答え ②……TBSディレクターの足田（ひきた）智氏が自身のウェブサイトで使ったのが最初。今やマスコミでもよく使われる名詞になりつつあり、シティコミューターとしての自転車の可能性を世にアピールした功績は大。

Q4. の答え ②……堺市は古くから刃物・鉄砲など金属鍛造工業が盛んで、その技術を生かして明治初期に自転車生産を開始。現在、堺の自転車関連メーカーは20数社、生産量は全国の約4割を占めるが、最近はアジアからの廉価な自転車の輸入に苦戦中。

Q5. 答え③……CSR（Corporate Social Responsibility）は、企業の社会的責任と訳されます。

①は「社会貢献」であり、CSRの一部ではありますが、決してすべてではありません。文化事業やスポーツイベントへの寄付などはメセナと呼ぶことがあります。これはフランス語で「文化の擁護者」の意味。長年熱心に音楽や芸術、スポーツ振興の支援を続けている企業がありますが、バブル期のように「儲ったお金から取り組んだ」企業は、ほとんどが継続していません。「儲ったから……」ではなく、その企業がめざす社会ビジョンを、ともに実現する取り組みへの支援といった思いと理解があって、継続的

なメセナが可能となります。慈善事業の場合はフィランソロピーと呼びますが、これは企業だけでなく個人の行為に対しても形容されます。

②は、納税も法令遵守も、CSR の一部ではありますが、当り前のこと。しかしながら、こんな当り前のことを堂々と「CSR だ」と発言する企業トップがまだいます。社員もきっと恥ずかしいことでしょう。

CSR は対象や範囲が広く、簡単に表現できませんが、この①～③のなかでは③。企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもつこと。不祥事を起こさないための社内統治（ガバナンス）をはじめ、環境の取り組み、障がい者雇用、男女の機会均等、職場内での男女差別の撤廃、人種や民族による採用・昇進差別の撤廃、事業所の進出や撤退による地域社会への影響考慮、そしてあらゆるステークホルダー（利害関係者：消費者、投資家等、社会全体）に向けた説明責任（情報開示）などを指します。これらの取り組みが法令で求められているレベルにとどまらず、社会発展のためにより前向きに取り組まれて「CSR に取り組んでいる」と言えます。

Q6. 答え× リサイクルは、ごみ減量の根本的な解決にはなりません。……エコ地蔵盆では、行事でのごみ減量を提案の一つの柱としています。ごみ減量では 3R という言葉も定着してきました。その優先順位は、リデュース、リユース、リサイクルの順。なによりもごみをださないリデュースが一番大切です。ペットボトルを水筒にかえる、容器包装の少ないものを買うことも日常でのリデュースの取り組みです。リユースは、使用後、そのままの形であるいは簡単な修理で再使用すること。ビール瓶や牛乳瓶などに残っているシステムです。リサイクルは、溶かしたり、燃やしたりして資源やエネルギーとして利用すること。ペットボトルが服になるという事例がわかりやすいでしょう。資源を有効に使うのは大切なことですが、そもそも海外から資源を輸入してエネルギーをかけてつくったものを、さらに莫大なエネルギーをかけてリサイクルすることは、社会全体からみると環境負荷は大きくなります。「たくさんのごみが出る」という状況でリサイクルがすすんでも、環境負荷が小さくなることはありません。

エコ地蔵盆で提案しているのは、もちろんリデュース。缶やペットボトルを一人ずつに配るのをやめて、給茶器を準備してマイコップ持参を呼びかけたり、リユース容器の利用、飲食の提供に食器類持ち込みのケータリングサービスを利用したりして、ごみ減量につとめた町内の事例があります。いずれの町内でも、行事が終わってから役員の人たちが「え？ごみこれだけ？」と驚くくらいの量しか、ごみが出ませんでした。ごみが少ないと後かたづけも楽です。エコ地蔵盆は、行事を通じたこうした実践と体験が、日常生活でのごみ減量のとりくみのきっかけになることもねらいとしています。

Q7. 答え ⑤ラワン ②チーク材……IUCN Red Data book Category（日本版）より。「絶滅危惧非常に高い」が、ラワン。「絶滅危惧やや高い」が、チーク。ちなみに「準絶滅危惧」がヒノキ、スギ。住宅に使う木はさまざまなものがあります。この問題に出てくる木はどれもよく使われるものばかりです。特にラワンは安い外材として合板になり、物入れや床、壁、天井の仕上げ材としていろいろなところに使われています。チークはマホガニーに次ぐ高級むく材としてインドネシア、ミャンマー、マレーシア、タイ、などアジアから輸入されています。それが絶滅危惧種に入っていることはとてもショックでした。私たちはますます国産材を使うことを考えなくてはならないのではないでしょうか。

Q8. 答え ③ 台風やハリケーンは地球温暖化によって大型化すると言われています。…… 地球温暖化が進むと大雨による洪水などで潮位が上がり、ツバルやモルジブといった南の島が沈んでしまうといわれています。また別の場所では雨がまるっきり降らず、乾燥による砂漠化が進んでいます。日本にも関係するものとしては、台風の大型化があります。以前では考えられなかった日本近海でも数多く発生するといわれています。これらを総称して異常気象と呼びます。

Q9. 答え ①イチゴ …… キキョウは秋の七草のひとつに数えられる花で開花時期は 6 月～ 9 月。環境市民のある京都では廬山寺の桔梗が有名です。ツバキは椿と書きますが 10 月～ 3 月に咲く花です。京都では地蔵院という寺が椿寺と親しまれています。正解のイチゴですが、開花時期は 3 月～ 5 月です。

最近では 12 月頃から店頭で販売されていますが、イチゴの花は寒さに弱く、加温しながら栽培されるため、結果的に温暖化の促進につながってしまいます。イチゴの旬は開花から 1 か月後の 4～6 月。まさにこれからの時期です。旬のおいしいイチゴで春を楽しんでくださいね。

Q10. 答え ① …… 酒税法では、日本酒には醸造用アルコール・糖類・グルタミン酸などの添加が認められていますが、「純米酒」と表示できるのは、精米歩合 70%以下の白米・米麹・水のみを原料とした清酒に限られています。（ただし、精米歩合が 70%を超える酒を「米だけで造られたお酒」などと称している例があります）。また、「吟醸」「大吟醸」など高級なお酒なら当然純米、と思いがちですが、そうではありません。「吟醸」なら精米歩合 60%以下、「大吟醸」なら精米歩合 50%以下であれば、10%以下のアルコール添加を認められているからです。

醸造時の発酵促進や品質安定のために少量の焼酎などを添加する例はありましたが、太平洋戦争中にアルコールを大量に添加した日本酒の生産・販売が認められるまでは、日本酒のほとんどは「純米酒」でした。さらに戦後、いわゆる「三倍増醸酒」が長らく大手メーカーの主製品として流通し、大都市の一般的な酒販店では純米酒が手に入れにくい状況が続いたせいで、「日本酒は後味が苦くて、悪酔いする」という思い込みを世に広げました。これが消費者の日本酒離れを招いた一因ではないでしょうか。純米酒ならそんなことはありません（でも、呑み過ぎはダメよ）。純米酒も最近はずいぶん入手しやすくなりました。ラベルの隅の表示を確かめた上で、日本酒本来の美味しさを再認識していただきたいと思います。

4月 22 日（木）には、お米・水・京都の地のこと、農家との交流などお酒づくりに関するイベントを行います。詳しくは 8 ページをご覧下さい。

Q11. 答え ③カクメイ科 …… 瀬戸内海は早くから汚染が進んでいましたが、奇跡的に自然の残っているところがありました。それが今、原子力発電所の予定地になっている、山口県上関町長島田ノ浦です。そこには今も小さなクジラの一種「スナメリ」や「ナメクジウオ」「カンムリウミスズメ」「カラスバト」などの、数が減っている生き物や、「ヤシマイシン近似種」などの独自の変化を遂げたものまでが、昔と同じように暮らしています。地元の反対にもかかわらず、今も建設計画は進められています。こういうニュースは、なかなか全国に知られないことが多いのです。

いま、六カ所村への放射性廃棄物の持ち込みも話題にはなっても、着々と進められています。こういう現実に私たち NPO は声をあげていかないといけないと思います。

ヤシマイシン近似種は殻径 1 mm ほどの小さな巻貝です。カクメイ（革命）科の貝だから、イシン（維新）なんて、なんだかムーブメントを起こしそうじゃないですか。これからもこの貝が生き残れる環境を残していきたいものです。

行事案内 4月

京 環境市民　東 環境市民東海　滋 環境市民滋賀

京 1Day ボランティアデー

毎月エコな話題をおしゃべりしながらニュースレター発送作業をしています。

＊とき:4 月 27 日(火) 午前 11:00 から午後 7:00 頃、
4 月 28 日(水) 午後 2:00 から 7:00 頃
＊ところ：環境市民京都事務局
＊備考：予定時間を過ぎて来られる場合は、あらかじめご一報ください。
◎次回発送予定日は……
＊ 5 月 26 日(水) 午前 11:00 から午後 7:00 頃、
5 月 27 日(木) 午後 2:00 から 7:00 頃

京 伏見の蔵元に聞く！ おいしいお酒づくりと環境のこと

ものづくりの場と、私たちのくらしとの距離がドンドン広がっています。伏見の蔵元に、酒づくりで大切にしている、お米・水・京都の地のこと、農家との交流を通したお酒づくりや、消費者とのコミュニケーションについて、お話しいただきます。ものづくりに本当に大切なこと、私たち消費者が大事にしたいこと、一緒に考えてみませんか。

＊とき：2010 年 4 月 22 日(木) 午後 6:30 から 8:00
＊ところ：「知る、感じる、つながる」多目的カフェかぜのね(京都市左京区田中下柳町 7-2)
＊アクセス：叡電 出町柳駅(京阪出口⑥) より徒歩 1 分
＊講師：木村 紫晃さん(招徳酒造 代表取締役)
＊参加費：500 円　＊定員：30 人(先着順)
＊申込み：4 月 19 日（月）までに、お名前、ご住所、電話番号、メール、FAX、交流会への参加希望の有無をメール（radio@kankyoshimin.org）か FAX、電話でお申し込みください。
＊備考：終了後は交流会（実費）を行います。参加希望の方は予めお申込下さい。＊主催 / 企画：NPO 法人環境市民 / ラジオチーム
■木村さんが、「環境市民のエコまちライフ」に、出演された時（2009 年 10 月 12 日）のお話を、ラジオ「環境市民のエコまちライフ」のブログで聞いていただけます。**URL: http://kankyoshiminradio.seesaa.net/**

東 里山整備と自然観察会

名古屋市民の水源の森として大切な御嵩町で、森（里山）の再生をしているグループがあり、支援と観察会をかねながら、生物多様性のことなども話し合いたいと考えています。新緑が美しく、山野草などもいろいろ見られると思います。

＊とき：5 月 1 日(土) 午前 9:00 から午後 4:00 頃
＊ところ：御嵩町の里山（旧中仙道近く）　＊集合場所：名鉄御嶽駅に午前 9:00（参加者が少ない場合は名古屋から乗り合い）　＊持ち物:軍手、帽子、しっかりした靴、弁当、水筒　＊費用：1,000 円（会員 500 円）保険代など　＊締切：4 月 26 日(月)　＊申込み：必要
＊主催：環境市民東海事務所

行事の申込み･お問い合わせは各事務局まで

京 **環境市民**
TEL.075-211-3521 **FAX.**075-211-3531
IP電話.050-3581-7492 **MAIL.**life@kankyoshimin.org

東 **環境市民東海事務所**
TEL･FAX.052-521-0095 **IP電話.**050-3604-6182
MAIL.tokai@kankyoshimin.org

滋 **環境市民 滋賀事務所**
TEL.077-522-5837 **MAIL.**cefshiga@kankyoshimin.org

ミーティング＊（いずれも京都事務所で行います）

＊ 4 月 12 日（月）午後 6:30 から 8:00「市民目線のエコ情報をラジオで発信」プロジェクト
＊ 4 月 19 日（月）午後 2:30 から 4:30「市民目線のエコ情報をラジオで発信」プロジェクト

新入会 ／寄付＊（2 月 13 日から 3 月 20 日まで）

〈新入会〉原野 知子／他にお一人
〈寄　付〉環境 goo 省エネ家電エコポイント制度応募の皆様
（五十音順敬称略）

意見表明
「地球温暖化対策基本法案」の根本的見直しを

2010年2月26日、環境省がまとめた素案「地球温暖化対策基本法案（仮称）」において、原子力発電の推進、再生可能エネルギーの導入目標数値が掲げられることが各メディアで報道されました。

これに対し、環境市民は、2010年3月4日、以下の通り、意見を表明しましたのでご紹介いたします。

環境市民では、今後も、持続可能な社会をつくるため、政府に対し、根本的な政策の見直しを求めると同時に、地域から社会を変える活動を展開します。

1 めざすべき社会像（ビジョン）の提示とそれに基づく戦略的な政策パッケージを

この法案は、名称の通り「対策」型で、2020年及び2050年までに実現すべき持続可能な社会のビジョンに基づく戦略的な政策が示されていません。2050年、二酸化炭素の90年比80%削減を実現した社会、私たちがめざすべき社会がどのようなものなのかを明確に示し、その実現のための政策を戦略的に構築する「バックキャスティング」を行わなければ「対処療法的」な施策に終わります。

2 持続可能な社会をつくるための社会制度の構築を

持続可能な社会をつくるためには、再生可能エネルギーの買い取り保障制度の導入、クルマに依存しない公共交通戦略、キャップ（上限）を設けた排出量取引、環境税の導入（税収を年金、雇用保険、健康保険の安定に用いるなどの社会要素も加えた）など、個々の努力に頼らず、環境を大切にした暮らしや産業が普及する社会的制度構築が必須です。

3 脱原子力発電を

今回、本法案に明記されようとしている原子力発電（以下原発）の推進は、再生可能エネルギーと省エネの推進を阻害する要因にもなります。日本のエネルギー研究予算のほとんどは、原子力・核燃料サイクル関係に費やされているため、再生可能エネルギーの技術的、制度的発展を遅らせています。また、原発は「発電時（正確にいうと核分裂時のみ）にCO_2を出さない」という幻想が、大量消費型のライフスタイルからの脱却を遅らせる要因になります。

また、原発は、建設、運転、廃棄、放射性廃棄物の永久に近い管理といった発電時以外のCO_2排出量やコストを含めると温暖化防止に必ずしも有効とは言えません。

何よりも、人類は現在、数百万年にわたって消えることのない核のごみ問題を解決できる技術は持っていませんし、運転時に万一の大事故が起きた場合、その環境への影響、生命への影響ははかりしれません。

地球温暖化防止を名目に原発を推進することは、核による地球規模の環境危機をより大きくする原因となり、また子々孫々に負の遺産を押しつけるものであり、到底容認できるものではありません。

さらに、原発に関する情報非開示の問題、非民主主義的な建設のすすめ方は、持続可能な社会にふさわしいエネルギーとはいえません。

4 再生可能エネルギーの飛躍的な導入を

温暖化防止のためには、再生可能エネルギーの高い導入目標を定め、社会的に普及するための制度の構築が必要です。特に、再生可能エネルギーの導入にあたっては、地域が主体的に参加できる社会的制度設計が必要です※。

再生可能エネルギーの導入は、CO_2の削減だけではなく、経済の活性化にもつながります。ドイツでは、2006年末で再生可能エネルギー関連産業の雇用が21万6千人生まれており、ドイツ連邦環境省は2030年までには33万人を超える、と発表しています。

今後、スマートグリットといったIT技術を活用した電力網が広がれば、太陽光発電や風力、小水力といった多様なエネルギーが導入しやすくなり、地域レベルで有効活用していくこともできるでしょう。このように、再生可能エネルギーは、環境配慮型の新しい仕事、技術、そして雇用を生み出す力も持っているのです。

※2010年2月23日、自治体と環境市民を含むNGOが共同で「地域の主体性を大切にした、再生可能エネルギーの飛躍的拡大を～日本社会への提案～」と題し、社会提案を行いました。詳しくはみどりのニュースレター2010年2月号6ページをご覧ください。

5 政策にNGOの参画を

持続可能な社会をつくるには、政府だけでは決してなし得るものではありません。今回の法案は、政府の一部関係者及び官僚で内容が検討されてきており、多様な参画が全くと言っていいほどなされていません。政策立案の過程において、各分野で実践的かつ専門的に活動をしているNGO、市民セクター等の意見を積極的に取り入れていくべきです。

▼原発の問題についてさらに詳しく知りたい方は、環境市民の会報誌「みどりのニュースレター」の以下の号をご覧下さい。
2009年8月号特集「まだ、原発が必要ですか」　2007年10月号特集「STOP温暖化待ったなし！　原発を考える」

スタッフ異動のお知らせ

約8年にわたって、環境市民のフルタイムスタッフを勤めた内田香奈が退職することになりました。

message

この度、環境市民事務局スタッフを退職することになりました。スタッフとしての約8年間で、たくさんの方と出会い、いろんな経験をさせていただきました。ありがとうございました。

会員のみなさんには、入会ほか各種手続きなどで連絡を差し上げることが多かったと思います。みなさんが、振込み用紙に添えて、あるいはメール等でくださるひとことメッセージも楽しみでした。一方、配慮のゆきとどかないところも多くあったかと存じます。申し訳ありませんでした。

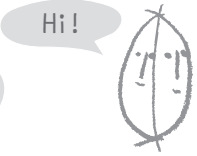
スタッフになるきっかけは、環境配慮型ライフスタイルを提案する本『だいすき京都　環境市民の遊びかた　暮らしかた』の作成でした。ボランティアの人たちとの議論や取材を通じて、暮らしのなかで環境を大切にする視点を得ただけでなく、その暮らしを支えるまちや地域の力にも目を向けることを教わりました。また、その後かかわったどの事業でも、各地にその地域のことや環境、社会のことを真剣に考えて、行動しようとする人がたくさんいることに元気をもらってきたように思います。

今後は、これまでに環境市民で得た経験を異なる分野でも活かしていきたいと思っています。環境市民には、「エコ地蔵盆プロジェクト」のボランティアスタッフとしてかかわりながら、「持続可能で豊かな社会」の実現に、少しでも役に立てればと思っています。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

内田 香奈

新しいスタッフを紹介します！

岩崎 恵美子さん



message

発展途上国の貧困問題について、その解決アプローチを考えたいという気持ちが、NGOでボランティア活動を始めるきっかけでした。会社員を経て、大学院での研究活動を経て、たくさんの出会いと学びのなか、環境市民のスタッフとなりました。

この数年は、インドに焦点を当て研究調査に奮闘していました。貧困層住民が持続的な経済活動を行うために、NGOと政府はどのような立場でその役割を担うべきか考察を行いました。調査のなかでは、地域住民の個人レベルの社会経済活動が住民自身に力を与え、その小さな変化の積み重なりが起爆剤となり、周囲の地域社会に大きな変化をもたらすことを提示しました。

インド滞在中、環境問題への関心は大きくなりました。農村部では、伝統的な知恵と技術で、様々な品物が最小限の費用と材料で作られていく工程を見たことで、モノの価値や資源の循環を考えました。バケツ一杯の貴重な水に感謝をしながら、頻繁におこる停電に耐えながらその意味を知り、人間も動物もテクノロジーもごちゃ混ぜになった状況のなかで、自然や環境に対して責任を持つ人でありたいと感じる日々でした。

第二の故郷だと思っているほど魅了された“インドづけ”の生活から一転、これからは、“環境市民づけ”になり、社会経済的な側面から環境問題を提示し、社会を開発していくことが、私のライフワークです。目下、フェアトレードについて関心があり、直接、南の生産者を訪ねて話を聞いたり、フェアトレード食品を味わったりと、興味を深めています。

とれたて！環境市民

環境市民の今、そしてこれからの活動をお知らせします

日本初カーボンニュートラルステーション摂津市駅 および摂津市駅号での環境メッセージ発信を環境市民が企画監修

3月14日、阪急電鉄京都線に日本初の「カーボン・ニュートラル・ステーション」摂津市駅が開業しました。開業にあわせて「カーボン・ニュートラル・トレイン摂津市駅号」が、7月31日まで運行されます。

3月13日、阪急電鉄京都線摂津市駅開業を明日に控えた土曜日、新駅と駅前広場の完成を祝う式典が、同駅および近くの中学校体育館で催され、地元の人や阪急関係者など200人以上が参加しました。この駅の開業に寄せる地元の期待の大きさが、駅式典での摂津市長森山一正氏をはじめ、地元関係者の挨拶から感じられました。と同時に、その駅が「日本初のカーボンニュートラル駅」であることも、誇らしさを倍加しているように感じました。

●CO_2の排出を0に

新駅摂津市駅は、駅施設で使う電力をLED照明や回生電力を利用する省エネルギー型エレベーターなどの省エネ設備や、太陽光発電などの自然エネルギー利用などにより極力削減するとともに、直接削減が困難なCO_2については、排出枠購入により駅の運営によって発生するCO_2をゼロにするというものです。

同駅開業にあわせて運行される「摂津市駅号」は、2008年12月から翌年7月まで運行された「エコトレイン・未来のゆめ・まち号」（環境大臣賞・グリーン購入大賞受賞）のコンセプトを引き継ぐもので、外観に環境をテーマにしたラッピングを施したうえ、ポスターも環境をテーマにしたものに統一されています。そのうえ、同列車運行中に使用する電力の発電で生じるCO_2を排出枠購入で実質的にゼロにする「カーボン・ニュートラル・トレイン」として運行されます。

●駅の広告、車内ポスターにもご注目を

環境市民は、摂津市駅、および摂津市駅号での環境メッセージの発信に関して「企画監修」という立場で参画しています。環境をテーマとした駅広告や車内ポスターなどへの環境NGOの視点からのアドバイス、掲示資料用の写真やバックデータの提供などをいたしました。

環境市民が、前回の「エコトレイン・未来のゆめ・まち号」に続きこの事業に携わるのは、ミッションのひとつに掲げている「経済をグリーンにする」の活動目的に沿うものだからです。事業の中身も、電車や駅といった多くの人が利用する場での環境情報発信への協力や、公共交通という環境負荷の少ない交通手段の応援など、広告を掲出する企業や沿線自治体の環境・CSR活動の発展に寄与するものとなっています。

持続可能な社会づくりに事業者の環境・CSR活動の進展は不可欠であり、なかでも「本業」での進展が重要です。この事業は、電車や駅といった鉄道事業者の本業を支える場での環境活動の発展に寄与できたという意味で、意義のある事業だと考えます。

（文/事務局長　堀 孝弘）

「市民目線の CSR 調査」基準原案公開のお知らせとご意見募集

環境市民は、環境、人権、雇用、児童労働、福祉など多様な分野のNGOとともに、「CSRを応援するNPOと市民のネットワーク」をつくり、日本版の『Shopping For a Better World（より良い世界のための買い物ガイド）』の作成に取り組んでいます。同書籍は、1989年アメリカの経済優先度評議会という市民団体が出版した本で、主に株式投資家に向けて、企業の環境対策だけでなく、女性の役員登用やマイノリティへの配慮、軍需産業との関わりなどを評価した本です。

これによって、CSR（企業の社会的責任）の向上に熱心な企業を応援する市民を増やし、CSRの発展を促し、「持続可能な社会」づくりをすすめることを目的としています。

作成は2006年から準備を進め、現在国内の主な大手企業をCSRの取り組みで評価するための調査（市民目線のCSR調査）を準備しています。まとめたデータは、最終的に書籍やウェブサイトで公開し、多くの人が見られるようにする予定です。こうした情報が活用され、買い物や就職、さらには株式投資などで、よりCSRでがんばっている企業を選ぶ市民を増やしたいと考えています。

次ページへ →

この調査を進めるにあたって、どのような観点でCSRを評価するのか、「基準原案」を設けました。まだ案の段階であり、多くのみなさんから意見をいただき精査を重ね、完成したいと考えます。そこで、基準原案についてのご意見をお待ちしています。

基準現案はウェブサイトからダウンロードできます。もしくは郵送いたしますのでご覧になりたい方は京都事務局までご連絡ください。

▼ダウンロードはこちら http://www.kankyoshimin.org/jp/hotnews/csrnpo_guidelinedraft.html

リニューアル！再登場
最新版 京都自転車マップ 京都市内版・京都郊外版

2005年の発売以来、大好評いただいた「京都自転車マップ京都市内編」「京都郊外編」が装いも新たに再登場します。

自転車で走りやすい道・危険な道・おすすめコース・休憩ポイント・すべての道路・自転車店・コンビニ・銭湯から公衆トイレに至るまで、自転車チーム「ちゃり民」メンバー有志をはじめ数十人のボランティアの尽力により、足掛け３年、すべて一から徹底調査して記載しました。

おすすめサイクリングコースはすべて新たに再設定。「京都市内版」「京都郊外版」の２分冊、各々地図とお勧めコース紹介の冊子をセットに、ジッパー付ビニール袋に入っています。地図は水濡れ・折目破れに強い特殊紙を使用しています。

４月上旬より各書店および主要自転車店で販売されます。これから新緑の季節。ぜひ、新しい自転車マップを持ってサイクリングを楽しんでください。

[編著者]NPO 環境市民・LLP 自転車ライフプロジェクト
[地図のサイズ] 約 60 × 90cm　**[冊子のサイズ]** A5 変形、48p、全頁カラー、中綴じ
[価格（税込）] 市内版 1,000 円　郊外版 1,100 円　**[発　行]** 西日本出版社
[申込み方法] 郵送希望の場合は、お名前、ご住所、電話番号、E-mail、「まちなか版」「郊外版」それぞれの希望冊数を明記の上、「京都自転車マップ希望」と記入し、FAX または電話、E-mail で環境市民までお申し込みください。ボランティアにより発送を行うためお申し込みから 1 週間程度のお時間をいただきますのでよろしくお願いします。環境市民京都事務局で直接販売もしています。
[送　料] 1 冊 80 円、2 冊 160 円。それ以上は事務局までお問合せください。
[支払い] 郵便振込後払いになります。振込手数料はご負担ください。

環境市民 東海事務所だより

“企業の社会的貢献のかたちと個人の選択”

東海事務所　牧村 好貢

景気が悪くなり、企業の社会的貢献が金額面で大きく落ち込んで少なくなっているとはいえNPOにとってはありがたい。少ない予算をどこに使うのか、寄付をするのかの選択は企業も個人も同じである。

そんな中、東海事務所も昨年名豊ブックセンターより8230円の寄付をいただいた。名古屋市内と刈谷市などに7店舗を構えるメディアや書籍を扱う企業からだ。ローカル企業だが、いろいろな形で市民に親しまれる活動をやっていて市民に支えられており、店の雰囲気も大手の本屋とは違う親しみを感じる。

顧客に配布するカードは、自分のために使うポイントカードか各種のNPOに寄付できるボランティアカードかを選択してもらっている。そして、顧客の指定した各団体へ、ブックセンターからの寄付金も上乗せして活動支援の一助としている。この活動は何年も前から始められており、福祉や自然保護団体、盲導犬協会など26の団体に配布されている。

1% for the Planet（1%フォー・ザ・プラネット）で有名なパタゴニアも環境保護団体に売り上げの1%を寄付しているのだが、地方の本屋というブックセンターの取り組みは二重の意味で面白い。最初に、自分のために買い物ポイントを使うのか、それとも団体に使うのかの選択を考えさせ、さらにはどの団体に寄付をするのかを考えさせ、会社はどんな団体に参加してもらうのかを考えるという仕組みなので、規模は小さくてもそれなりの影響力がある面白い取り組みではないだろうか。本やCDを買うならぜひこの会社で。グリーン購入とCSRのいいマッチングの事例では。

ブックセンター名豊　ボランティア活動のブログ
http://meiho1.boo-log.com/

環境市民からつながっていること

在間 敬子

ざいま・けいこ……京都産業大学経営学部准教授。2009年8月より京都市地球温暖化対策推進委員会の委員もしています。研究で得たことを生かして環境政策に提言できれば、と張り切って取り組んでいます。仕事と家事に追われる日々ですが、家族の団らんと、寝る前や電車の中の読書が楽しみです。話題になった映画やドラマの原作を読むのが好きです。

■環境市民との出会い

今から25年程前、私は大学を卒業した後に、とある企業の研究所で材料研究に携わっていました。その時に、日本には高い技術はあるのにその技術が廃棄物処理などに十分活かされているわけではないんだなあ、と漠然と感じました。

それが環境問題に関心を持つきっかけでした。当時は地球環境問題への警告が鳴らされ始めた時期で、私も何か活動したいと思い、いくつかの市民団体に参加しました。その中で、企業や行政ともパートナーシップを構築しながら市民中心の環境配慮型社会づくりをめざす「今までの日本にない新しいタイプの組織」を立ち上げようとされていた枚本さんに出会いました。「環境市民」という名前を決める議論の場にも参加させてもらいました。『タオ自然学』などで知られる物理学者フリッチョフ・カプラー氏を招いてのシンポジウムや情報発信など、本当に微力ながらお手伝いさせていただきました。

■活動の思い出

環境市民でボランティアをしていた時の笑い話をひとつ。ある日事務所で会議資料（だったかな？）のプリントアウト用の紙を探していた私に、枚本さんが「えぇほぉの紙は机の下にあるよぉ」とおっしゃいました。私は「えぇっ！悪い方でいいんです。もったいないですぅ」と思わず言いました。枚本さん「だから、えぇふぉーの紙やでぇ」。そうです。京都弁の「えぇほぉ（良い方）」でなく紙サイズの「A4（エィ・フォー）」でした。気づいて大笑いでした。

■学生が「一歩踏み出す」お手伝い

私は現在、京都産業大学の経営学部および大学院マネジメント研究科で准教授として働いています。環境市民との出会いがきっかけとなり、環境問題と経済の仕組みへの問題意識をもつようになり、京都大学の大学院に進みました。現在は、教育や研究を通して、少しでも社会の役に立ちたいと思っています。

ゼミでは、「一歩踏み出す学生」をコンセプトに活動をしています。意外に思われるかも知れませんが、おとなしい学生がわりと多いのです。そんな彼らも、きっかけがあれば、今までとは違う活動や勉強に少し踏み出せます。それをお手伝いしています。京産大には「サギタリウス・チャレンジ」という、学生の事業活動などへ助成するプログラムがあります。昨年、私のゼミでもけしかけたところ、学生たちが「マイカップ普及プロジェクト」と題して応募しました。残念ながら採択されませんでした。が、そこであきらめずに、場を変えて今度は、島津製作所の理事（当時）にお願いをして、学生たちがコラボ企画を提案させてもらうことにしました。その結果、島津製作所が取り組んでおられる小中学校の環境授業のお手伝いをさせてもらうことになりました。

学生から学んだこともあります。島津製作所では同志社大学・京都精華大学の学生達とのコラボで、生物多様性を学ぶ新しいカードゲームを作られました。私は、最初は内心「同志社の学生みたいな新しいプランはできなかったなあ」と思っていたのですが、ゼミの学生が「ぼくたちなら、小中学生と同じ目線で、楽しみながらお手伝いできます」と言ったのです。ハッとしました。「学生たちが等身大でできることがあるのだ」「それに一歩踏み出せばよいのだ」と。このアシスタント活動は、島津製作所だけでなく小中学校でも大変好評で、ゼミの次の学年へも引き継がれることになりました。現在、学生の「一歩踏み出す」ことを応援する新たな企画を考えています。私自身も楽しみながら。

■研究を通じて、点と点を「つなぐ」

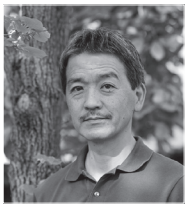
私が現在力を注いでいる研究の一つに、中小企業の環境経営を推進する地域社会の仕組みをデザインすることがあります。京都には、KES環境機構の認証制度や、京都シニアベンチャークラブ連合会の省エネ支援など、民間発のユニークな活動があります。また、中小企業へのさまざまな支援政策や制度もあります。ただ、それらの中には、中小企業の経営事情にフィットしていないものや、良さが伝わっていないものもあります。また、多くの活動は単独で行われており、お互いにリンクすれば面白いのにと思うものもあります。私は研究で得たものを、行政の委員会などで、よりよい仕組みへの提言に反映させたいと思っています。また、ヒアリング調査をしながら、ユニークな組織の活動を紹介しています。「点」の活動をつないで「線」にしたい、それが広まれば、やがては「波」にできると期待しています。地味で細々とした研究ですが、「何か役に立ちたい」という思いは、環境市民への参加からつながっています。

みどりのかわらばん

読者×読者、
読者×環境市民をつなぐ

みどりの特派員便り

☘ 全国で活躍する環境市民の会員さんが、「みどりの特派員」として地域の活動や思いを紹介します。



平島 安人さん
（環境市民会員：
長野県在住）

始まりはチェルノブイリ

長男が一歳を迎えた直後のあの原発事故、放射能汚染されていない食べものを息子に、そんな親のエゴから事故の関連情報を集め、原発のことを調べるうち、環境問題の根源的原因を考えるようになりました。子どもの頃からの希望だったエンジニアになり会社生活を送っていた自分に、新たな課題意識が芽生えたのです。その後、会社を中から変えたいと思い希望して環境部門に移りました。自分にとっては大きな転機でした。

多足の環境わらじ

会社は一昨年、「2050 年には CO_2 を現状比 1/10 にする」という環境ビジョンを公表、少しは変わったかもしれません。京都会議の頃からはもっと行動が必要と考え、仲間とともに森林ボランティアグループ“森倶楽部 21”を結成、休日はチェーンソーを担ぎ森の手入れをやっています。また気候変動など環境問題に関する研究や発言が認められ、会社勤めの傍ら信州大学で 4 年間、非常勤講師として「地球環境問題概論」を担当しました。長野県内各地での講演活動はもう 10 年以上続けています。松本地方の地域紙「市民タイムス」での毎水曜のコラム執筆はこの 4 月で 3 年目に入ります。

足ることを知っている社会を目指したいですね。

インフォ@エコ

☘ 環境に関するオススメの本、映画、音楽などをご紹介します。

町家再生の論理創造的まちづくりへの方途

宗田 好史著　学芸出版社　2009 年 2 月発行

町家の現状と住民の思い、行政の施策や市民の活動を通して京都の今を詳細に伝える書である。町家はなぜ失われ、また残ったのか、町家にはどんな人々が暮らしているのか、町家の町並みはなぜ壊れたのか。町家再生を阻む問題点を明らかにし、最後に町家再生を始めた人々が、何に気づき、何を始めたかが語られる。

「町家ブーム」を一過性と見るむきも多いが、筆者は町家再生の流れの中に、今後の日本の都市のあり方を問い直す革命的な変化を読み取る。大量生産・大量消費・大量廃棄される住宅は環境に大きな負荷を与え、便利になりすぎた住宅での暮らしが人や家族の生活能力を脆弱化し、地域社会の絆を弱め、町や村の力を内側から衰退させてきたと筆者は見る。そして、町家再生は単に町家保存や景観づくりに寄与するだけでなく、日本の建築と都市のあり方を問い、都市を住人が自ら望む形につくりかえるための方途であると指摘する。

実は、私も裏長屋の借家に暮らしている。格子戸もばったん床几（しょうぎ）も虫籠窓（むしこまど）も箱階段もない。筆者の七分類法でいくと、最下位の「ただの老朽木造住宅、困っている」に当たるだろう。京都に 4 万 8 千軒のこる町家のうち、この範疇に入るものが一番多いらしい。ということは、このような町家をどうするかが今後、町づくりのカギになっていくということだ。まずは、玄関のガラスサッシを磨こう。

（文 / 環境市民会員　窪井 千鶴子）

SKIPの！エコファイター劇場

環境共育チームSKIPの環境プログラム「エコファイターショー」をモチーフとしています。

イラスト：かわみん

●ご意見・ご感想宛先● メール・FAX・郵送でお送りください

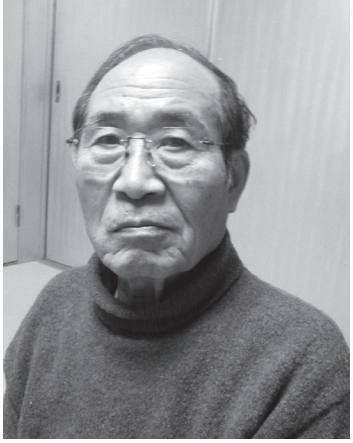
（MAIL） newsletter@kankyoshimin.org　**（FAX）**075-211-3531
（郵 送） 〒604-0932　京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階　NPO法人環境市民
みどりのニュースレター編集部 宛

環境市民

かんきょうしみんぶんのいち

★環境市民の会員を紹介します

no.58 末石 冨太郎さん



大阪市水道局を経て、京都大学、大阪大学、京都精華大学、滋賀県立大学で教鞭をとる。また、（財）千里リサイクルプラザで研究所長を務めるなど、市民活動にも積極的にかかわってきた。

もっと市民レベルで、徹底的に議論ができないものか？ たとえば、新規の空港建設、原発、それを宣伝するコマーシャル一つにしても。

■琵琶湖と近畿の関係

「琵琶湖が水瓶という発想はどうかな？」と言われる。「当たり前のように受け止めていないか」と。

長らく、水関係の調査にかかわってきた。琵琶湖の富栄養化防止条例をつくる際にも、調査を依頼された。無リンの合成洗剤なら本当に大丈夫なのか？

答えは「グレー」。使ってもいいことになってはいるが、無リンでもベンゼン環はそのまま。ベンゼンは発がん物質である。この輪を断ち切るには、20時間の曝気処理が必要だが、通常の下水処理ではせいぜい4～6時間。とうてい取り除くことはできない。

「だいたいどうして琵琶湖を水瓶にしようとしたのか」。千五百万人の水瓶としては、あまりにも規模が小さすぎる。大阪は淀川の水だけで遣り繰りすべきだった。洗剤問題で米国のEPA（アメリカ合衆国環境保護庁：Environmental Protection Agency）を訪ねた際も"How bigger is the Lake Biwa than the Michigan?"と、聞かれた。これほど多くの人の水源にするには、琵琶湖の規模では無理だという話題になったそうだ。

■問題は都市計画自体にあり

「それに今、山の保水力自体も減っている。里山が今人気のようだが、里山ということの認識をちゃんと理解している人がどれだけいるか？」と、水を造る根本に話が及ぶ。手入れする人がいて、使う人がいて、保水力のある山がある。山がちゃんとしていないと水も造れないのに、もともとの都市計画がなっていないのだと言う。人口が集中する都市部、残すべき山も住宅地に変えてしまう。本当にそこに住宅を建てるべきだったか。造ったものは本当に必要なものか？

それは今つくられている新規の空港もそうである、と。「どうして、市民のレベルでものを考えられないのか」。そういう仕組みをつくれないものか、ずっと考えてこられたそうだ。

■市民の力を形に

吹田市が廃棄物リサイクル事業を始める際には、協力を要請され、1992年に（財）千里リサイクルプラザ研究所を設立、市民研究と環境ネットワークの形成を実現した。市民研究所を併設するのは、市民が自由に研究したり、発表したりして、政策を提案するためだった。いままで150人ほどの人が、ここから巣立っていった。環境市民との連携を考えていたが実現できなかったと残念そう。

京大や精華大をはじめいくつかの大学で教鞭をとってこられ、そこからも多くの人が巣立ち、今は各所で環境の分野を担っている。

「環境のことは行政に頼っていてはだめだ、これからは市民が力をつけていかないと」。

また、早い時期から「大学と地域の結合」を提唱してきた。もっと大学を地域に開き、たとえば市役所のような役割を担わせたり、自主的な特別区、たとえば、地域で生ごみの循環など実験的な試みをしてみたらどうかという提案もしている。

環境市民も設立当初からの会員で、折りに触れ、活動のヒントを提案してくださっている。原発に対する警笛も早くから鳴らしてきた。有名な芸能人を使う原発のコマーシャルが氾濫する今、「本人は本当に内容を知って仕事を引き受けたのだろうか？ 原発推進のCMにでている芸能人に環境市民から質問状を送ってはどうか」ということに、話が及ぶ。

「逆に、『こんなコマーシャルは引き受けない』という芸能人もいるかもしれない。そういう人たちのリストをつくってもおもしろいのでは」。意識ある知識人を味方につけるのも一つ。これからは市民主体の世の中に変えていくのは、私たちだ。末石先生も私たちも、あきらめることはない。（インタビュー！写真／ニュースレター編集部　千葉 有紀子）

今月のありがとう

目立たないところでも、お力を貸してくださった方々に、感謝をこめて―。

＜ニュースレター発送＞

大槻 達郎／坂部 安希／谷川 毅／野中 誠／東 広之／堀内 重人／山本 優（五十音順敬称略）

編集後記

このニュースレターが皆さんの手元に届くころには、うららかな春が訪れているはず。春といえば何か新しいことを始めたくなるのは私だけ？ いやそんなことはないでしょう。環境市民のプロジェクトを賑やかに紹介した今回の特集。誰かの新しいことを始めるきっかけになればいいなと願っています。（阿比留 優子）

編集部（五十音順）

阿比留優子　有川 真理子　伊藤 省二　飯田 康道　乾 孝史　宇治野 未菜　大槻 達郎　風岡 宗人　久保 友美　駒 ゆき香　島村 吉男　角出 貴彦　田麦 誠　千葉 有紀子　内藤 一樹　林 映里　森山 明香　安江 晃子　デザイン 下司 智子

『だいすき京都　環境市民の遊びかた　暮らしかた』
価格変更のお知らせ

1200 円→ 500 円！（税込）

2006 年に発売し、皆様にご好評のライフスタイル提案本『だいすき京都　環境市民の遊びかた　暮らしかた』を改訂価格で販売します。本体価格 1200 円が、税込み 500 円となります。

旬の暮らしのページは４月から始まります。新生活が始まるこの季節にお薦めの一冊です。すでにお持ちの方も、新生活を始めるお友達や京都好きの方へのプレゼントにいかがですか。京都の日々の暮らしの中のさりげない行動が、これからのまちや地球を変えていきます。無理せず、気負わず、自然体でできる、グリーンコンシューマーのヒントがいっぱい詰め込まれています。

会員の方なら、５月号のニュースレターに同封して送りますので、送料もかかりません。早く欲しい！とおっしゃる方は、事務局まで取りにきていただくか、送料をご負担願います。なお、数に限りがございます。売り切れの際は、ご容赦願います。

ラジオ番組　「環境市民のエコまちライフ」　京都三条ラジオカフェ（79.7MHz）

身近な話題から旬の話題まで環境の視点から情報発信　放送時間：毎週月曜午後 1:00 から 1:30（再放送は火曜朝 7:00 から）
インターネットでの試聴・ダウンロードはこちら→ **URL: http://kankyoshiminradio.seesaa.net/**

環境市民に入会しよう！

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください！

会員特典

□月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
□行事などの参加費を割引させていただきます。
□環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	ー
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	ー
特別助成会員	50,000円	ー
終身会員	一括　80,000 円	
営利法人会員※	1口 50,000 円	50,000円
非営利法人会員※	1口 10,000 円	2,000円

※ 年会費は一口以上

会費の振込み方法

1）郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、「年会費＋入会金」をご入金ください。（※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要）

2）ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念としてポストカードをお届けします。

寄付をする

住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先

【郵便振替】　口座番号：01020-7-76578
加入者名：環境市民

（発行）**特定非営利活動法人　環境市民**　（代表）枚本 育生　（発行人）堀 孝弘

TEL：075-211-3521　IP 電話：050-3581-7492　FAX：075-211-3531
E-mail：life@kankyoshimin.org　URL：http://www.kankyoshimin.org
〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル呉波ビル３階（月から金午前 10:00 から午後 6:00）

●環境市民 東海事務所
TEL&FAX：052-521-0095　IP 電話：050-3604-6182
E-mail：tokai@kankyoshimin.org　URL：http://www.kankyoshimin.org /tokai/
〒451-0062　名古屋市西区花の木 1-12-12　AOI ビル４階

●環境市民 滋賀事務所
TEL：077-522-5837　E-mail：cefshiga@kankyoshimin.org
〒520-0046　大津市長等２丁目 9-12　竺 文彦気付

この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して
大豆油インキで印刷しました。印刷：（有）糺書房

環境市民
Citizens Environmental Foundation

本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。「環境市民」登録商標 第4809505号